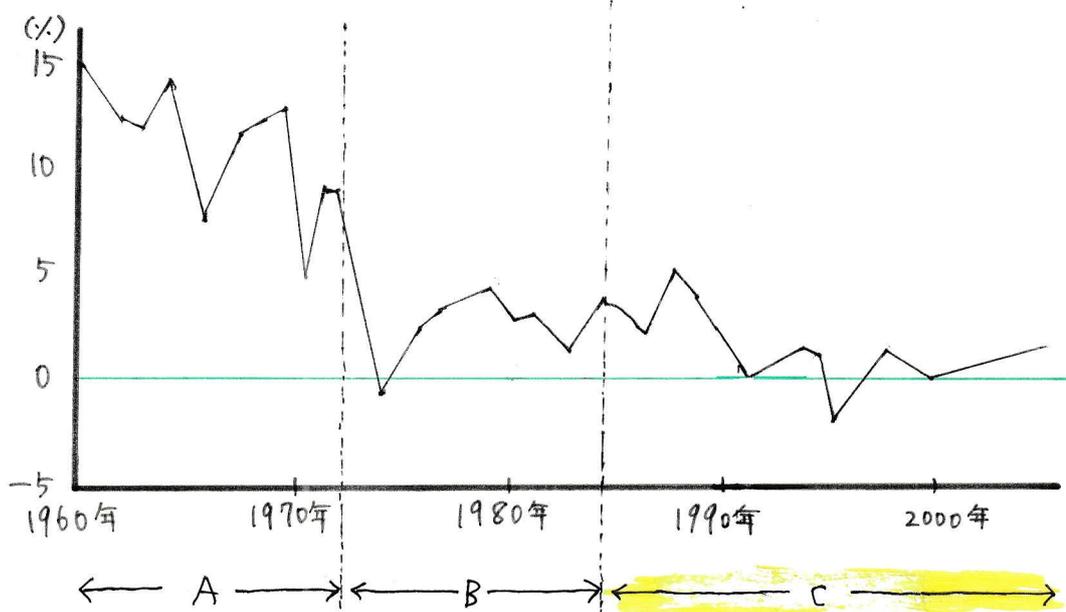


4. 先進国日本の課題



● < Aの時期 > 1955年から1973年までの間

日本は年平均10%程度の(高度経済成長)を続けた。

しかし、1973年に起こった(石油危機)によって高度経済成長は終わった。

オイルショック

● < Bの時期 > 石油危機以降

日本は経営の合理化や省エネルギー化を進め、いち早く不況を乗り切り安定成長の時期を迎えた。

そして、鉄鋼や造船にかわって自動車や電気機器などの輸出がのび、貿易黒字が増えた。しかし(アメリカ)との間に(貿易摩擦)が生じた。

● < Cの時期 > 1980年代以降

投機によって株や土地の値段が異常に高くなる(バブル景気)が起こった。この好景気は(バブル経済)といわれましたが1991年に崩壊した。

この時期は銀行や企業の倒産が相次いだため、日本は経済や社会のしくみの見直し(構造改革)をせまられるようになった。